

戸山77期生通信 第8号

2022.9.25 創刊

☆☆戸山祭終了!☆☆

1年生は展示をメインとし、各クラス創意工夫を凝らした空間を造り上げていました。8クラス様々なテーマがありましたが、「おにぎり」を語り尽くしたとあるクラスの作品は、ひととき異彩を放っていました。

77期生の活躍はクラス活動にとどまりません。部活動の出し物や展示ブースで個性を爆発させ、観る者を楽しませてくれました。

体育館や講堂での演目は観客の発声を控えての実施でしたが、熱い手拍子や光の演出等により、一体感のある空間が出来上がっていました。

そして、圧巻は先輩たち2・3年生の活躍！エネルギー溢れる演劇、ハイクオリティーな映画、感動と笑いのダイジェストムービー。目を奪われる作品とたくさん出会えた77期生は、来年に向けてどんなイメージを膨らませたのでしょうか？今から楽しみです。

(文化祭後、動画編集ソフトを求めて先生を尋ねる生徒が何人かいました)



(写真)文化祭クラス展示の様子

☆☆模擬討論会！☆☆

1年生の秋。戸山高校では、伝統的に2泊3日のホームルーム合宿を行っています。しかし、今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、校内での日帰り実施となります。いわゆる、**HR (H i g a e R i) 合宿**です。9/15(木)午後、本番に向けたリハーサルの位置づけとなる模擬討論会が行われました。1年生の教室など全16会場に分かれ、司会進行や討論の進め方など、試行錯誤しながら進めている様子でした。

討論と言うと、漠然と「意見を戦わせる」イメージがある人もいるかもしれませんが、その場の思いつきだけでは良い議論になりません。我々が77期生は、事前に綿密な資料を作り上げ、討論本番に臨んでいます。そして、その資料をどう根拠として活かしていくか、彼らの力量が試されているのです。

模擬討論を終え、校外学習委員会を中心とした反省会に耳を傾けると、様々な意見が飛び交っていました。

「テーマの定義づけが曖昧で、議論が噛み合わなかった。」「資料が多すぎた、または少なすぎた。」「途中で論点がずれてしまった」「司会がもっとうまく進行できたらいいい」などなど。実際にやってみて気づいたことがたくさんあったようですね。

番外編ですが、「クラスメイトの話しぶりに圧倒された」といった意見もあり、普段あまり感じる事のない戸山生の「プレゼン力」の高さを体感した生徒も多くいたようです。

さて、いよいよ9.25HR 討論会本番！彼らはどんな準備をして当日を向かえ、どんな熱戦を見せてくれるのか。刮目あれ！

77期生担任一同



(写真) 模擬討論会の様子。右下は委員による反省会